

エンジン始動異常(セル回るが始動しない)

機種: 7-9G/8-9GX/8-11GX

セル回るが始動しない

燃料は入っているか？
(燃料計で確認)

Eになってい

燃料補充する

はい

燃料コックは「開」になっているか？

いいえ

燃料コックを「開」にする

はい

チョークをめいっぱい引いた状態でエンジンを回す。
その後エンジンプラグを取り外して電極の状態を確認する。
判定1: 電極が濡れていれば燃料供給系は問題無し。
判定2: 乾燥している場合には燃料が供給されていない
可能性があるため、フロート確認～インジェクション
回り迄燃料供給系を調査する事

判定2の場合

キャブレターに不具合の可能性があるため、各エンジン
マニュアルに記載のキャブレターの項目を参照し
対応して下さい。

外したプラグをエンジンのボディーに接触させた状態で
クランキングさせて、スパークの有無を確認する

スパークプラグを別の物と交換しエンジンボディーに
接触させ、クランキングしてスパークするか確認。

スパークする

スパークしない

スパークする

- ①スパークプラグの緩み
- ②シリンダヘッドボルトの緩み
- ③シリンダヘッドガスケットの吹き抜け

プラグをエンジンに取付け
始動するか確認する。

グランドワイヤーミナルを外して
再度スパークの有無を確認

スパークしな

スパークする

グランドワイヤーミナルが
エンジンに接触している箇所
を調査・対処する。(キース
スイッチ側も確認)

- 以下を確認し、場合により
処置実施。
- ①フライホールキーの切断
 - ③アマチュアエアギャップ
が広すぎる
(適正値0.2～0.3mm)
 - ④アマチュアコイルの断線

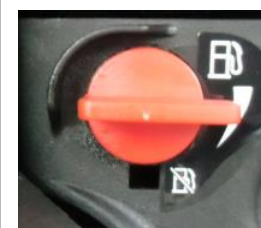
燃料計



E(燃料が空を示す)

F(燃料が満タンを示す)

燃料コックレイアウト



「開状態」



「閉状態」

エンジン始動異常(セル回るが始動しない)
機種:7-9G/8-9GX/8-11GX

スパークプラグ電極状態確認

電極部の状態を確認し、燃焼室内の燃焼状態を推測する。

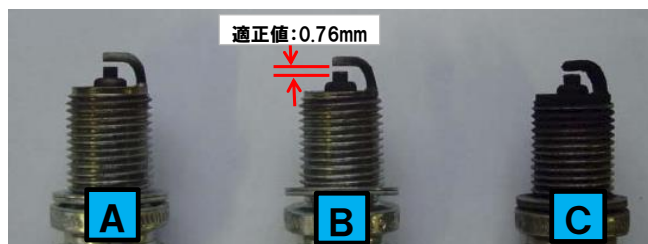
(1) 極端に白い場合: 下写真 A 状態

① 混合気が薄い ② 過負荷状態 ③ オーバーヒート状態

(2) 適正な状態: 下写真 B 状態

(3) 黒くカーボンが付着(濡れている)場合: 下写真 C 状態

① 混合気が濃い ② エアクリーナーの詰まり ③ 電極部GAPが広すぎ



アース線接続箇所と確認内容

アース部 確認内容

- ① 接続部に緩みがないか?
- ② 塗装等絶縁物を挟み込んでいないか?
- ③ 丸形端子部の圧着状態に問題がないか?
- ④ 被覆等に問題がないか?



グラウンドワイヤーターミナル線

バッテリー
アース線接続部

レギュレーターライン

